

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会
第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月30日(水) 二回戦

Aコート 第2試合 深谷総合体育館(深谷ビッグタートル)

チームA	55	$\left. \begin{array}{l} 12 - 18 \\ 17 - 22 \\ 12 - 23 \\ 14 - 25 \end{array} \right\}$	88	チームB
神戸市立科学技術				岡山学芸館
兵庫				岡山

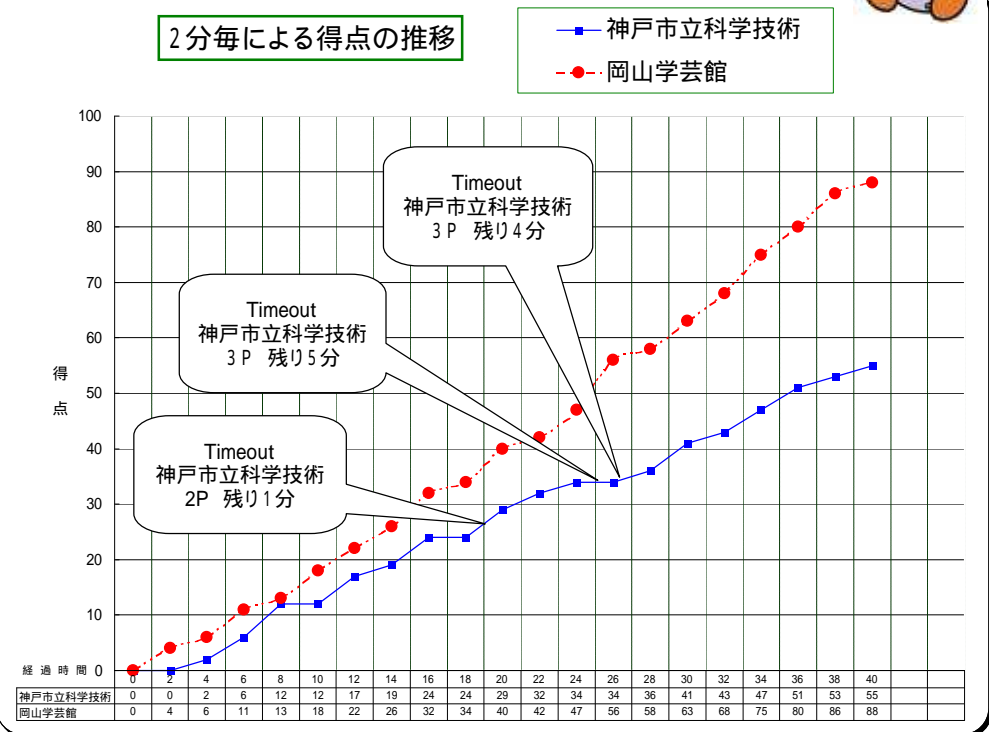
神戸市立科学技術

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	河内 陽	✓	0	0	0	0	2	0	0	2	0	2	4	0	4	0	21
5	橋之口 海	X	3	1	2	0	2	0	0	1	2	2	1	0	0	0	8
6	岡 凌 平	✓	3	1	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	6
7	保田 貴政	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	0	15
8	吉田 風太	X	10	3	10	0	6	1	2	1	2	0	3	3	1	0	27
9	森田 暁彦	X	15	0	0	7	11	1	1	4	1	3	3	1	3	1	37
10	山本 拓矢	✓	12	0	0	6	10	0	1	1	3	1	2	1	1	0	28
11	得津 一樹	✓	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
12	水鳥 匠悟	✓	4	0	2	2	5	0	0	4	0	1	4	2	2	0	29
13	澤田 歓喜	✓	2	0	2	1	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	7
14	豊原 奨也	✓	2	0	0	1	1	0	0	1	1	0	3	0	0	0	6
15	雨堤 友希	X	4	0	0	1	3	2	2	1	1	0	0	1	0	0	14
コーチ	加藤 明広										0	2	1				
出場: ×は先発、/は出場			55	5	19	18	42	4	6	15	12	11	23	9	15	1	200
確率				26.3%		42.9%		66.7%			計	23					

岡山学芸館

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	万代 卓実	X	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	9
5	松本 芳裕	✓	13	1	5	5	9	0	0	3	0	0	2	4	0	1	23
6	大橋 順	✓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3
7	伊藤 実希	X	17	4	10	2	3	1	1	1	0	1	4	2	6	0	35
8	藤原 一仁	✓	6	0	1	1	2	4	4	1	2	0	1	1	2	0	17
9	岩田 直也	✓	9	3	5	0	0	0	0	1	0	1	1	0	3	0	21
10	橋本 一馬	X	2	0	1	1	3	0	0	0	0	2	3	1	5	0	28
11	松本 博行	X	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	2	0	2	1	12
12	勝又 健人	✓	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
13	難波 勇介	✓	2	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5
14	延原 慎	✓	2	0	0	1	2	0	0	0	0	1	1	0	2	0	9
15	トゥーレイ アビブ	X	37	0	0	18	21	1	1	0	10	9	3	0	4	4	35
コーチ	島田 篤										0	3	3				
出場: ×は先発、/は出場			88	8	23	29	43	6	6	11	15	18	19	9	25	6	200
確率				34.8%		67.4%		100.0%			計	33					

2分毎による得点の推移



戦評
岡山学芸館 #15 アビブの高さに対し、いかに科学技術が持ち味の粘りのあるディフェンスで戦うかが見所のゲームとなった。
第1P 両チーム共にマンツーマンでスタート。立ち上がりお互いの激しいディフェンスに対し、思うようにプレイができず、ロスコアの展開となる。残り1分、岡山学芸館は1-1-3ゾーンディフェンスに変え、速攻から#7伊藤の3Pシュートで、6点リードとする。
第2P 科学技術は相手のゾーンディフェンスに対し積極的に攻め、良い形でシュートを放つが、岡山学芸館 #15アビブの高さの前に思うように得点が伸びない。残り3分、科学技術も2-2-1オールコートゾーンプレスからマッチアップゾーンで速攻を狙うが外角シュートが決まらず、11点差で前半を終える。
第3P 岡山学芸館はディフェンスをチェンジングディフェンスにして、科学技術にリズムを作らせない。オフェンスでは#7伊藤の連続3Pシュート、#15アビブのゴール下などで、22点差となる。
第4P 逆転を試みる科学技術はゾーンプレスの激しさを増し、ボールを奪いに行くと岡山学芸館のガード陣は落ち着いてボール運びをし、追隨を許さない。科学技術は#10山本の1対1などで最後まで頑張りを見せるが落ち着いたゲーム運びをした岡山学芸館の勝利となった。

主審	伊橋 隆浩	副審	治田 一人	戦評	佐野 正 (埼玉県高体連)
----	-------	----	-------	----	---------------

3P: スリーポイントシュート、2P: 2ポイントシュート、FT: フリースロー、OF: オフェンス、DF: ディフェンス、TO: ターンオーバー、ST: スティール、AS: アシスト、BS: ブロックショット